

大学・高専機能強化支援事業
(学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)【支援1】
事業概要

令和5年7月時点

1. 基本情報

選定年度	令和5年度	学校コード	F112310102422
大学名	敬愛大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	千葉県
大学全体の総収容定員数	1,600名	※令和5年5月1日時点	
学部学科 組織構成	経済学部(経済学科、経営学科)、国際学部(国際学科)、教育学部(こども教育学科)		

2. 事業概要

<p>千葉県内の大学で最初に認定された文部科学省が推進する「数理・DS・AI教育プログラム (MDASH) 認定プログラム (リテラシーレベル・応用基礎レベル)」を基盤として、情報とデータサイエンス、マネジメントの3分野を学ぶことができる新学科を国際学部開設予定である。情報分野では、情報リテラシー、情報セキュリティ、情報メディア、コミュニケーションなどを学ぶことができる。データサイエンス分野では、ビジネスにおけるAI活用、統計学、社会調査法などを学ぶことができる。マネジメント分野では、情報の利活用における諸プロセス(計画・実行・管理)の効果的な方法を学ぶことができることを目指している。</p> <p>【特色】</p> <ol style="list-style-type: none">入学から卒業までを一体とするサポート体制を構築。学修する3分野の学びを通して、地域の課題を解決する力を養う。企業等との協カプログラムにより実践を重視したリアルな学びを展開。教職員が学生一人ひとりの成長を責任をもって支援する。
--

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和7年度		
認可申請・届出予定	令和5年度	※既に申請・届出している場合はその年度を記入	
改組内容	既存学部における学科の新設		
設置等組織名	国際学部 情報・データサイエンス学科 (仮称)		
設置等組織の学位分野	理学関係	経済学関係	社会学・社会福祉学関係
当該学部等の所在地	千葉県千葉市稲毛区		
入学定員	50名		
収容定員	200名		
入学定員の増加数	50名		
他学部等の入学定員の減少数	0名		

※学部・学科を新設する計画である場合は、当該学部等の所在地欄は予定所在地を記入。

※入学定員には編入学定員を含む。

<基本情報>

改組予定年度：令和7年度 改組内容：既存学部における学科の新設
 設置等組織名：国際学部 情報・データサイエンス学科(仮称)
 入学定員：【R7新設】50名 所在地：千葉県千葉市稲毛区

<コンセプト>

学校法人創立100周年（2026年）に向けた新たな学問領域への挑戦。

情報、AI・データサイエンスを駆使して活躍するビジネスパーソンを育成。

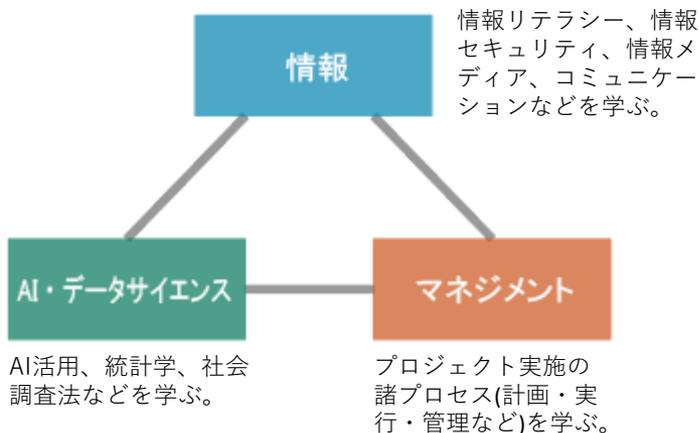
- ・入学から卒業までを一体とするサポート体制によって、学生一人ひとりの目標進路の実現を可能とさせる。
- ・情報の利活用とマネジメント方法を学び、地域課題を解決する力を身につける。
- ・企業との協力プログラムを通じて実務的なスキルを磨く。
- ・初学者や女子学生にも学びやすい環境を構築する。
- ・女子学生の獲得を推進する。
- ・IT、金融、メディア、地方自治体(行政職)、マーケティング、コンサルティングなどの様々な職業で活躍できる力を身につける。
- ・地元千葉県への就職を促進する。

<教育内容>

高等学校「情報」の学習内容から応用的な学修へ。

「数理・DS・AI教育プログラム（MDASH）認定制度（リテラシー・応用基礎レベル）」を基盤として、さらに発展的なプログラムへ。

- ・情報とデータサイエンス、マネジメントの3つの分野を学ぶ。
- ・実データ・実課題を使った実践重視の「リアル」な学修。
- ・関連資格の取得対策講座の開講。
- ・専用の学修室と関連図書の完備。
- ・就職Multi相談（学修を振り返り「身につけた能力」×「裏付ける経験や実績」×「目標とする業界や職業」を自分の言葉でまとめる）



<学生確保の見通し> 申請要件②

既設学部学科のターゲットにとらわれない新たな入学候補者の開拓を目指す。

- ・近隣女子高校との教育連携を推進し、出前講義等を実施。
- ・女子生徒比率が高い系列高校との連携。
- ・副専攻「AI・データサイエンス」履修者数201名(女子学生66名, 32.8%)の実績。

<実現に向けた体制> 申請要件③

既存の規則や運用を活かし、質保証の強化に取り組む。

- ・ビジネス現場や地域課題の解決に必要な資質能力の修得を評価する(DPの策定)。
- ・導入、基礎、発展、応用の各水準と知識・理解(講義)、実践(PBL等)の方法を組み合わせたカリキュラムを編成する(CPの策定)。
- ・仕事や生活の様々な場面で情報、AI・データサイエンス、マネジメントの知識やスキルを活用することを望み、生涯にわたって自ら研鑽する意欲を持つ入学者の選抜を行い、妥当性を評価する(APの策定)。

<人材育成の計画> 申請要件④

人材育成の目標を達成するために、3つのポリシー・カリキュラム、入試制度の決定、入学前・初年次教育の整備等を構築する。

<実務家教員の配置> 申請要件⑤

実践科目を中心にビジネスの経験豊富な実務家教員を充てる。

- ・AIの最新状況やビジネスでの情報・データの利活用を講義する科目には、企業や自治体等から招聘した講師を充てる。

<企業等との事前協議> 申請要件⑦

企業等と設置構想の妥当性について協議を行う。

- ・千葉市内の企業に県内就職者の30.6%、成田市内の企業に28.6%が就職していることから、これらの地域の企業や自治体との事前協議を重要視する。

<外部資金獲得に係る計画> 申請要件⑩

産官学連携によるPBL授業によるデータ収集・分析と新しい価値の創造活動は、本学総合地域研究所の研究テーマであり、地元企業や地域課題の解決を図ることを目的とした研究等により受託研究費の獲得を見込んでいる。

<他機関との連携の計画> 申請要件⑫

数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムの加盟大学と連携する。

- ・課題探究授業の共同実施。
- ・データサイエンス・コンペティションの共同開催。